

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 2060080 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	シビックプライド事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	ぎふメディアコスモス事業課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	4	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	令和3年度に岐阜の魅力を集めた情報拠点としてメディアコスモス1階にシビックプライドプレイスを開設。シビックプライドに関連した様々な事業を展開するとともに、市民の方々と協働でシビックプライドプレイスのコンテンツを充実させることにより、市民のシビックプライドの醸成を図る。					
内容 (手段・手法など)	①シビックプライドギャザリング ②メディコス編集講座 ③シビックプライドプレイスディスプレイ事業 ④ティーンエイジのための表現講座					
事業の 対象	何を	岐阜の魅力を再発見するイベントの開催や、魅力を収集・発信する担い手の育成、そしてシビックプライドプレイスを市民と共に装飾するなど、市民がそれぞれにシビックプライドを感じるきっかけをつくる。				
	誰に	市民				
	どのくらい	①シビックプライドギャザリングを3回実施 ②メディコス編集講座を6回実施 ③シビックプライドプレイスディスプレイ事業を4回実施 ④ティーンエイジのための表現講座を3回実施				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	16,536	520
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	16,536	520

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	2,018
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	報償費	0	0	1,880
	旅費	0	0	138
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	2,018

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	0	18,554

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	1,009
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	1,009

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	0	17,545

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	—	—	イベント等参加者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	イベント開催数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	—	16
実績値	—	—	—	16

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	来館者の増加		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	—	1,200,000
実績値	—	—	—	1,171,909
達成状況	—	—	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	日常では得られない情報を得たり、情報を発信するスキルを身に着けることができる。 シビックプライドというテーマで事業を紐づけ、包括的に運営することによって相乗効果を高めると共に、担い手のコミュニティ育成を支える観点からも、市が主体的に関わることが望ましい。 類似の事業は無い。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	最小限の経費で実施している。 メディコス編集講座とシビックプライドディスプレイ事業においては適切な受益者負担を求めると共に、イベントの講師については地元有識者に協力を仰ぐなど、市民と共に事業を作り上げている。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込みか ※【2】【7】から	高	シビックプライドギャザリングへの申込は概ね定員に達し、参加者アンケートからは満足度の高さが伺えた。また、メディコス編集講座の修了生によって、シビックプライドプレイスのコンテンツが継続的に追加されており、シビックプライドの醸成に一定の効果が得られている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	唯一有料としているメディコス編集講座に関しては、文章スキルのみを高める民間の講座と比較しても安価であり、受益者に過度な負担を強いてはいない。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	新規事業ではあるが、集客は順調に進み、アンケート結果では参加者の満足度も高い。次年度以降も事業を継続すると共に、現状のプログラムを踏襲するだけでなく、参加者のニーズや時代の流れを意識したフレキシブルな企画・運営を進めることで、市民のシビックプライド醸成を図る。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 2060080 \_ 002

## 【1.基本情報】

事業名	みんなの森 ぎふメディアコスモスの季刊紙発行					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	ぎふメディアコスモス事業課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	3	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	シビックプライドセンターとしてのメディアコスモスが、全館的観点から、施設理念や考え方とともに多様な活動に参画する市民の姿を生き生きと伝える広報メディア(季刊紙)を発行する。					
内容 (手段・手法など)	季刊紙(メディコス文化道)の発行 紙面構成:メディアコスに集う面々の紹介や近隣のスポット情報を主軸 発行回数:年4回					
事業の 対象	何を	施設理念や考え方とともに多様な活動に参画する市民の姿				
	誰に	市民、岐阜市来訪者				
	どのくらい	年4回発行				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	3,230	100	3,180	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	3,230	100	3,180	100

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		0	2,138	2,101
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託費	0	1,600	1,600
	印刷製本費	0	538	501
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		0	2,138	2,101

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	0	5,368	5,281

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	1,069	1,050
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	1,069	1,050

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	0	4,299	4,231

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	—	季刊紙読者	季刊紙読者
受益者数	0	20,000	20,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	215	212

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	発行回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	4	4
実績値	—	—	4	4

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	来館者数の増加		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	1,200,000	1,200,000	
実績値	—	819,999	1,171,909	
達成状況	—	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市民活動団体やメディアコスモスで活動する人々の様子を伝えることにより、市民活動が活発になる。 メディアコスモスやメディアコスモスで活動する団体・人々の紹介は市が主体的に行うことが必要である。 メディアコスモスに特化した唯一の紙媒体の広報である。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	最小限の経費で実施している。 現在は取材や編集を企業に業務委託しているが、将来的に「メディアコス編集講座」修了生が、取材の一部を担い、市民協働で編集していくことも検討を進めており、令和4年度には試験的に紙面の一部を修了生と共に編集した。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	各号5,000部作成・配架しているが、ほぼ在庫がなくなっている。市民からの関心も高く、まち情報に関しては、周辺店舗から掲載の依頼も多くある。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	市内10か所以上で配架し、メディアコスモス館内でも多くの来館者の目に留まる位置に配架することにより、広く周知している。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	年間4回、定期的に発行することで、新たなメディアコスモスファン、応援団、ボランティアを増やすことにつなげるとともに、すでに関わりを持ち協働して来たボランティアやNPO団体のメディアコスモスへの理解、シビックプライドへの認識がさらに深まる。また、視察団体や関連外部企業、新規移住者、流入する学生への広報効果も期待できる。ひいては市の関係人口増につながる広報ツールとしての役割を担うものであるため、現状維持とする。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 2060080 \_ 003

## 【1.基本情報】

事業名	メディコス「文化の広場」交流事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	ぎふメディアコスモス事業課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	みんなの森 ぎふメディアコスモス自主事業実行委員会	
開始・終了年度	令和	3	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	メディアコスモスの文化的資源(本、資料、ボランティア、NPOネットワーク)を駆使した、広場としての場の魅力を屋外で日常的に体感できる市民協働市を定期開催する。メディアコスモスが外の広場へと領域を広げ、市民団体と市民との交流ポイントを屋外に生み出すことも大きな目的である。					
内容 (手段・手法など)	①広場で文化のマルシェ、クラフト市など ②市民登録団体による市民自主事業「フム・ドキ・ワイワイ事業」 ③正月イベント ④ハーブガーデン講座					
事業の 対象	何を	広場としての場の魅力を屋外で日常的に体感できる市民協働市				
	誰に	市民				
	どのくらい	①広場で文化のマルシェ、クラフト市などを2回実施 ②市民登録団体による市民自主事業「フム・ドキ・ワイワイ事業」を1回実施 ③正月イベントを1回実施 ④ハーブガーデン講座を5回実施				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	①広場で文化のマルシェ、クラフト市などを1回実施 →3回実施 ④ハーブガーデン講座を3回実施 →5回実施					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	9,690	300	9,540	300
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	9,690	300	9,540	300

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	1,195	3,186
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	0	1,195	3,186
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	1,195	3,186

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	10,885	12,726

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	524	1,593
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	524	1,593

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	10,361	11,133

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	0	イベント参加者	イベント参加者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	イベント開催数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	6	9	
実績値	—	5	9	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	来館者の増加		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	1,200,000	1,200,000	
実績値	—	819,999	1,171,909	
達成状況	—	× (未達成)	× (未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市民活動団体の活動の場の提供により、多様な市民交流の促進が図られる。 単なるイベント開催を超えた市民、ボランティア、NPOネットワーク間はもちろん、柳ヶ瀬商店街を含めた新たな信頼の関係が生まれ、自主的、自発的な新たなテーマコミュニティが育っていくことにつながることから、市での開催が望ましい。 ぎふメディアコスモスを拠点に、複数団体が協力して通年の活用を計画する事業は他にない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市民活動団体等の協力のもと最小限の経費で実施している。 ぎふメディアコスモスが位置する司町及び中心市街地の賑わい創出に寄与する団体を構成員とすることで、民間との効果的な連携を進めている。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらも、安全な事業運営を実施し、7月の周年イベントにおいては、1日平均来館者数の2倍を超える7,000名以上が連日来館した。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	市民の誰もが参加できるイベントとするとともに、広報紙やホームページを活用して広く周知している。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	開館から7年がたち、メディアコスモスの広場も新たな賑わいが生まれた。実行委員会の構成団体との連携や協力体制をさらに強化することによって、今後も年間100万人以上の来館者数を持続するとともに、中心市街地の賑わい創出に寄与していく。